B6FJ-4841-01 Z0

ESPRIMO

取扱説明書

液晶ディスプレイ -24 ワイド

（VL-24WM1D）

はじめに

このたびは、弊社の液晶ディスプレイ -24 ワイド（VL-24WM1D）（以降、本製品）をご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品は ESPRIMO とのセット商品です。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2010 年 6 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルをよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

・ 本製品の LCD パネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・ 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間、1ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・ 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・ 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
・ 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品＞
LCD パネル、アルミ電解コンデンサ

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

24 時間以上の連続使用について

本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

■ 安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 本文中の記号

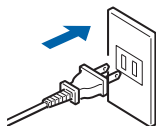
本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
●●▶	このマニュアル内の参照先を示しています。
	冊子マニュアルを示しています。

■ 製品の呼びかたについて

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
アナログディスプレイケーブル	アナログケーブル
DVI ケーブル	デジタルケーブル

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品の電源ケーブルの電源プラグは「平行2極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。
接続先のコンセントには「平行2極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。通常は、ご家庭のコンセントをご使用になれます。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■PC リサイクルマークについて

本製品の装置銘板には、PCリサイクルマークがつけられています。PCリサイクルマークがついた弊社の製品は、弊社専用受付窓口にて無償で回収・再資源化いたします。廃棄・リサイクルについては、パソコン本体に添付されている『取扱説明書』をご覧ください。

■商標および著作権について

VESA、DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

目次

1 使用上のご注意

・液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によっては、むらおよび微少なはん点が目立つことがあります。
- 製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99％以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの、表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。

  これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

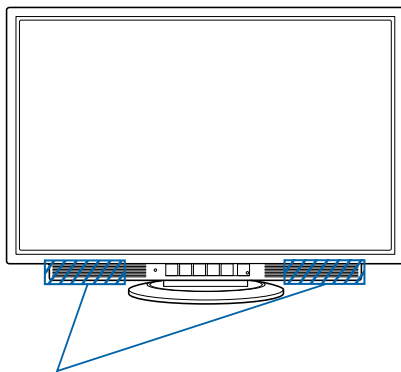
・液晶ディスプレイの取り扱いについて
- 衝撃を与えたり、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。特に、画面のお取り扱いについてはご注意ください。
- ひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。画面やカバーに傷が付く原因になります。
- 画面を拭くときは、傷を付けないようご注意ください。

重要

▶ **画面を拭く場合、市販クリーナーの成分によっては画面の表面コーティングを傷めるおそれがあります。「日常のお手入れ」（••▶ P.36）をご覧ください。**

・スピーカー前面を強い力で押さないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。

・画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。

- 持ち運ぶときは画面やスタンド部を持たないで、下の図のように画面下部を両手で持ってください。また、液晶パネル面に手が触れないようご注意ください。

- 本製品を設置するときは、次の点に注意してください。
  - 窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光が当たらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
  - 液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向き角度を調節してください。
  - テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置すると、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
  - 本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
  - 本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しております。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
- 本製品の各ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にパソコンの電源を切ってください。
- 本製品の各ケーブルが引っ張られた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

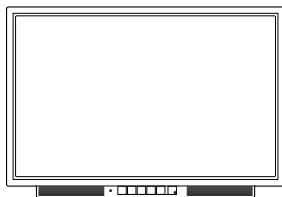
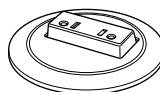
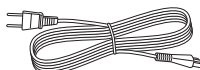
⚠警告

- **本製品の内部には高電圧部分がありますので、分解しないでください。**

⚠注意

- **映画などの動画をお楽しみいただくときは、周囲を充分に明るくし、なるべく離れてご覧ください。また、画面が明るすぎると感じたときは、「明るさ」を調整してください。**

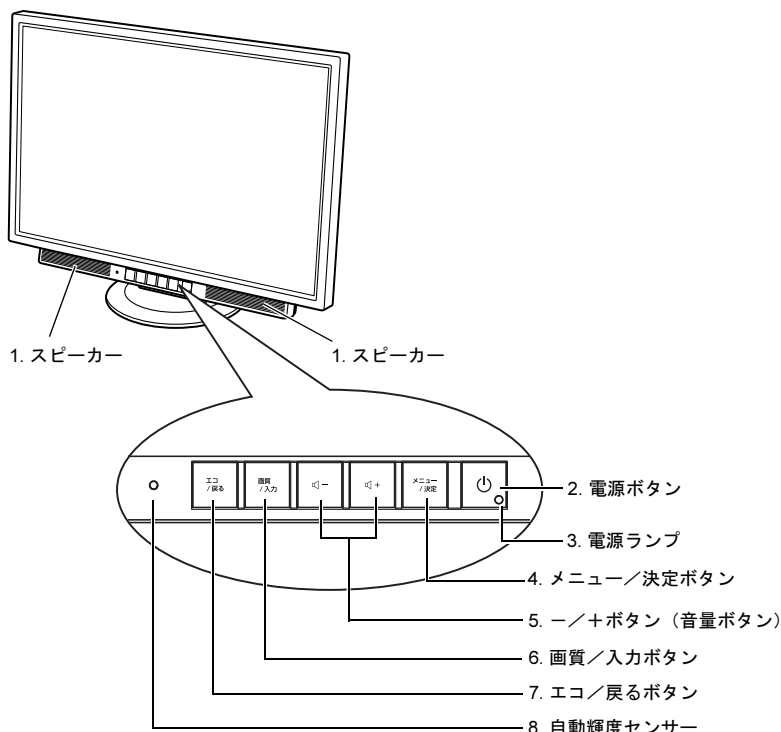
2 製品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあった場合は、おそれいりますが「富士通パソコン診断センター」までご連絡ください。

液晶ディスプレイ本体

ベーススタンド

電源ケーブル

オーディオケーブル

デジタルケーブル

3 各部の名称と機能

■前面

1 スピーカー

音声を出力します。

2 電源ボタン（⏻）

本製品の電源オン／オフを切り換えます。

3 電源ランプ

本製品の電力状態を表します。

「省電力機能」（••▶ P.21）

4 メニュー／決定ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を決定、調整値を保存するときに使用します。

「細かい設定を行う」（••▶ P.23）

5　－／＋ボタン（音量ボタン）（🔈）

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整したりするときに使用します。
メニュー画面が表示されていないときは液晶ディスプレイのスピーカー音量を調整できます。

6　画質／入力ボタン

映像の内容に合わせた画質モードを選ぶときに使用します。
「画質を選ぶ」（••▶ P.17）
また、入力切り換えをするときに使用します。
「入力切り換えについて」（••▶ P.29）

7　エコ／戻るボタン

エコモードのオフ／オート／インテリジェントオート／オンを切り換えます。
「エコ機能」（••▶ P.19）
また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

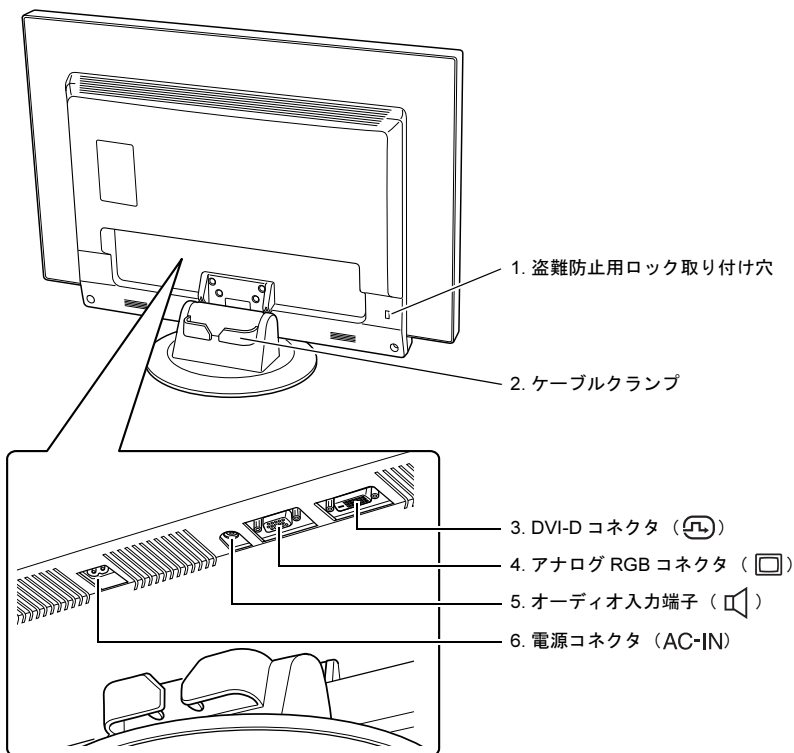
8　自動輝度センサー

エコモードを「オート／インテリジェントオート」に設定した場合に、周囲の明るさを検知して最適な輝度に調整します。

重要

- 自動輝度センサーの前にはものを置かないでください。エコモードを「オート／インテリジェントオート」に設定した場合、ものを置くなどして自動輝度センサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

■背面

1. 盗難防止用ロック取り付け穴
2. ケーブルクランプ
3. DVI-D コネクタ（ ）
4. アナログ RGB コネクタ（ ）
5. オーディオ入力端子（ ）
6. 電源コネクタ（AC-IN）

1　盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

2　ケーブルクランプ

ディスプレイに接続したケーブルを通します。

3　DVI-D コネクタ（HDCP 対応）（ ）

パソコン本体と添付のデジタルケーブルで接続します。

⚠注意

・本製品はセットパソコン専用液晶ディスプレイです。他の HDCP 対応機種との接続はしないでください。

POINT

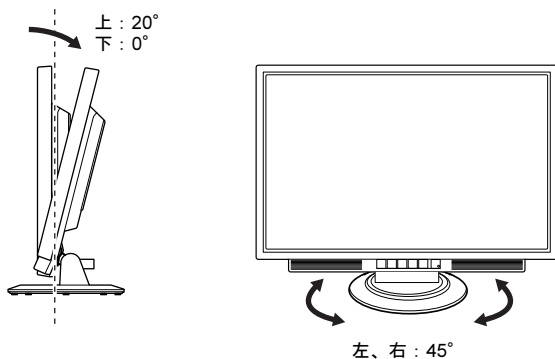
▶HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。
HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

4 アナログ RGB コネクタ（ ）
パソコン本体とアナログケーブルで接続します。
セットパソコンとの接続では使用しません。

5 オーディオ入力端子（ ）
パソコン本体と添付のオーディオケーブルで接続します。

6 電源コネクタ（AC-IN）
添付の電源ケーブルを接続します。

画面の角度調節

ディスプレイの上下・左右の角度を調節するときは、ディスプレイの両端をつかみ、任意の角度に調節してください。

⚠注意

・ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
・上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となります。

4 液晶ディスプレイの設置と接続

接続の前に

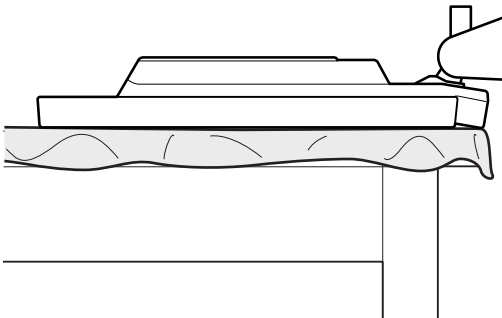
・すべての接続が終了するまで、本製品とパソコン本体の電源は入れないでください。
・本製品の電源ケーブルを、パソコン本体のアウトレットではなくコンセントに接続して使用する場合は、本製品の電源を入れた後にパソコン本体の電源を入れてください。

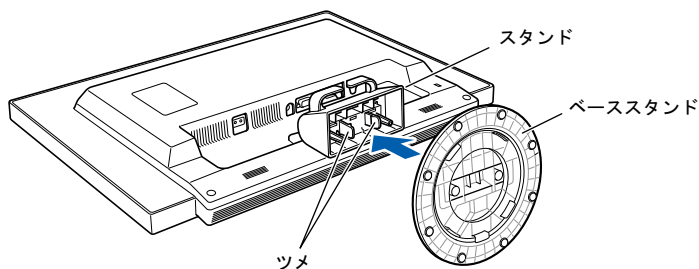
注意

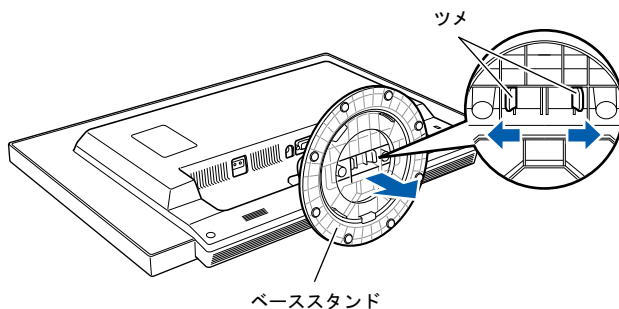
・ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本製品が落ちて破損やけがのおそれがあります。本製品を設置するときは、安定した場所に設置してください。

パソコン本体への接続については、パソコン本体の『取扱説明書』もご覧ください。

ベーススタンドを取り付ける

1 **カバーや液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。**

2 ベーススタンドの突起をスタンドに差し込むようにして、カチッと音がするまで押し込みます。

左右 2 つのツメが、確実にはめ込まれていることを確認してください。

POINT

- ベーススタンドを取り外す場合は、次の図のように、ベーススタンド裏面のツメを左右に広げながらベーススタンドを手前に引きます。

パソコン本体と接続する

パソコン本体の電源を入れる前に、パソコン本体と本製品とが正しく接続されていることを確認してください。

1 **ケーブルを接続します。**

■ **パソコン本体にアウトレットがない場合**

電源ケーブルをコンセントに接続します。

■ **パソコン本体にアウトレットがある場合**

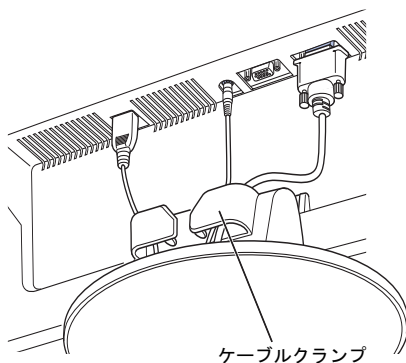
電源ケーブルをパソコン本体のアウトレットに接続します。このように接続すると、本製品の電源がパソコン本体の電源と連動して入るようになります。

初めて電源を入れるときは、パソコン本体の電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。

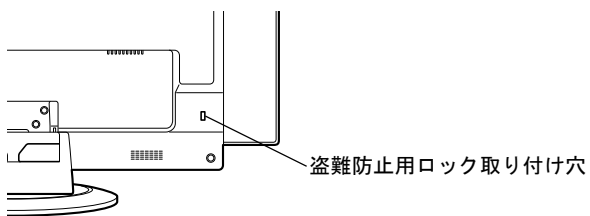
ケーブル接続後、本製品に一度電源を入れると、以後はパソコン本体の起動にあわせて電源が入ります。パソコン本体を起動するたびに本製品の電源を入れる必要はありません。

⚠ 注意

- 本製品は、コンセントまたはパソコン本体のアウトレットの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。
- 万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

2 **本製品背面のケーブルクランプ部にケーブルを通します。**

盗難防止について

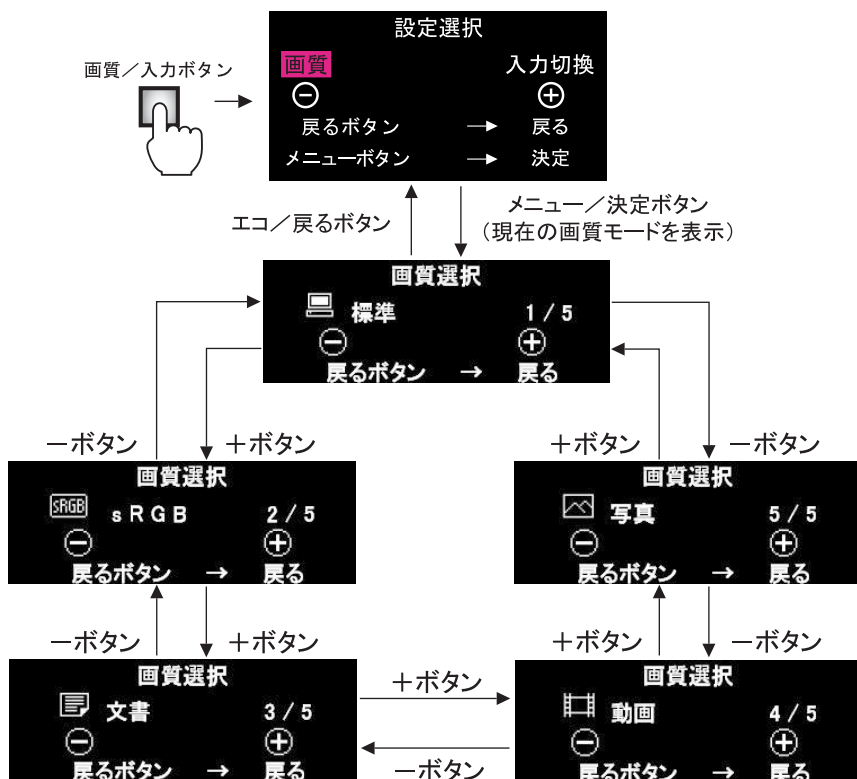
本製品の背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。

市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。

5 画質を選ぶ

画質／入力ボタンを押すと、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

重要

- 動画モードは、画面内の画像の変化（動画）を検出して全画面の階調表現を自動で調整します。そのため画像が変化していない部分も影響を受けるため、階調や色が変わって見えます。動画モードでは、動画を全画面表示して使用することをお勧めします。

画質／入力ボタンを押すと、「設定選択」画面が表示されます。「設定選択」画面で「画質」を選ぶと、「画質選択」画面が表示されます。続けて－／＋ボタンを押すと、次のように選択が変わります。

モード名	機能
標準	標準的な画質のモードです。
sRGB	パソコンの機種など機器の違いによらず、意図した通りの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。 コントラスト、ガンマ、カラー設定、黒レベルは調整できません。
文書	メールや文書の作成などの背景に白が多い表示のときに最適なモードです。 明るさが抑えられ、文字が見やすくなります。
動画	DVD などの動画コンテンツの表示に最適なモードです。 シーンに合わせて見やすい階調表現に自動的に調整し、コントラスト感とダイナミック感を表現します。
写真	デジタルカメラ写真などの静止画表示に最適なモードです。 色を鮮明に表現します。

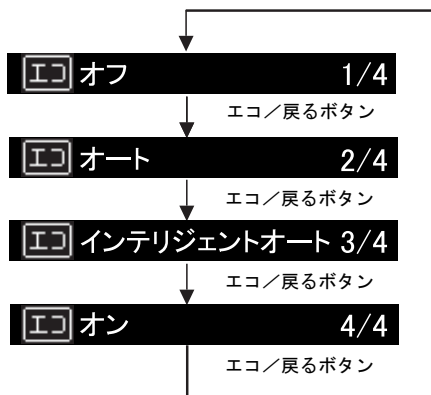
重要

- メニュー画面などが表示されている場合、画質／入力ボタンは無効です。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／入力ボタンを押してください。
  メニュー画面については、「細かい設定を行う」（••▶ P.23）を参照してください。
- 細かい画質の調整は、画質選択で標準モードを選択後、メニューボタンでメニューを表示させて調整を行ってください。
  画質の調整項目については、「調整項目の内容」（••▶ P.24）を参照してください。

6 エコ機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を削減する機能や、削減された消費電力を表示する機能が搭載されています。

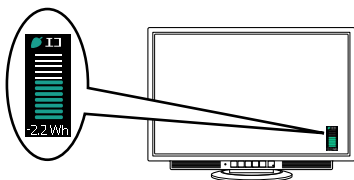
■エコモード

エコモードとは、画面の明るさを抑え消費電力を削減する機能です。
エコモードには「オフ」「オート」「インテリジェントオート」「オン」の 4 種類があり、通常時（スピーカーを使用していない状態）の消費電力を最大で約 39% 削減することができます。
エコ／戻るボタンを 1 回押すと、現在のエコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。

エコモード	機能
オフ	メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさそのままで画面を表示します。
オート	自動輝度センサーで周囲の明るさを検知し、周囲に合わせて画面の明るさを抑えることで、消費電力を削減します。
インテリジェントオート	自動輝度センサーに加え、表示する画像によって画面の明るさを抑えることで、消費電力を削減します。
オン	画面の明るさを最小にします。消費電力が最も少なくなります。

重要

- ご購入時は、エコモードが「オフ」に設定されています。
- エコモード「オン」の状態で「明るさ」を調整すると、エコモードは「オフ」に設定されます。
- 自動輝度センサー（→ P.8）の前にはものを置かないでください。エコモードを「オート」「インテリジェントオート」に設定した場合、ものを置くなどして自動輝度センサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検出できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

■エコゲージ

現在の電力削減量をリアルタイムに数字とバーで表示します。
電源投入時や節電状態からの復帰時、入力信号および電力削減量が変化したときに一定時間表示され、自動的に消えます。
エコゲージは、メニュー／決定ボタン（••▶ P.8）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコゲージ」（••▶ P.27）で表示、非表示を切り換えることができます。

POINT

- エコゲージで表示している数値およびバーは、エコモードやエコブーストを使わずに明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

■エコブースト

エコブーストとは、OS の起動時など、入力信号が本製品の推奨解像度（モード）より小さい解像度（1024 × 768 など）の場合に、輝度を落として電力を削減する機能です。
エコブーストはメニュー／決定ボタン（••▶ P.8）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコゲージ」（••▶ P.27）でオン、オフを切り換えることができます。

重要

- ご購入時は、エコブーストは「オフ」に設定されています。
- 解像度（モード）が 1600 × 120 または 1280 × 1024 の場合、エコブーストは動作しません。

■累積電力削減量表示

ご使用開始からの電力削減量を表示することができます。
累積電力削減量（kWh）とその累積電力削減量を CO_2 換算した値（kg）の 2 種類を表示します。累積電力削減量とはエコモードやエコブーストを使わずに、明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。
メニュー／決定ボタン（••▶ P.8）でメニューを表示し、「エコ設定」－「累積電力削減量表示」（••▶ P.27）で表示できます。
「累積電力削減量表示」で表示している累積電力削減量と累積 CO_2 削減量は、「エコ設定」－「累積電力削減量リセット」（••▶ P.27）でリセットできます。

POINT

- 「累積電力削減量」には、本製品が節電状態に入っている間（••▶ P.21）に削減された電力量は含まれておりません。

7 省電力機能

本製品はパソコンの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。
省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。
本製品は、パソコン本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。

<table>
<tr><th rowspan="2">パソコン本体の状態</th><th rowspan="2">本製品の電源供給元</th><th colspan="2">本製品の動作</th><th rowspan="2">本製品の消費電力</th></tr>
<tr><th>画面表示</th><th>電源ランプ</th></tr>
<tr><td>通常状態</td><td>コンセント、またはパソコン本体のアウトレット</td><td>表示あり</td><td>白</td><td>52W ／ 48W
(最大時／通常時)[注1]</td></tr>
<tr><td>映像出力オフ[注2]</td><td>コンセント、またはパソコン本体のアウトレット</td><td rowspan="2">表示なし</td><td rowspan="2">オレンジ</td><td rowspan="2">0.5W (省電力動作時)</td></tr>
<tr><td>スリープ／スタンバイ、または休止状態</td><td>コンセント</td></tr>
<tr><td>スリープ／スタンバイ、または休止状態</td><td>パソコン本体のアウトレット</td><td>表示なし</td><td>消灯</td><td>0W</td></tr>
<tr><td>電源ボタン「オフ」時[注3]</td><td>コンセント、またはパソコン本体のアウトレット</td><td>表示なし</td><td>消灯</td><td>0.5W</td></tr>
</table>

注 1 : 通常時とは、画質モードを「標準」にして、スピーカーを使用しないで明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。

注 2 : パソコン本体の省電力機能により画面の表示が中断されてから、スリープ／スタンバイ、または休止状態に移行する前の状態です。

注 3 :「電源ボタン「オフ」時」の電力消費は、電源ケーブルをコンセント、またはパソコン本体のアウトレットから抜くか、アウトレットから本製品に電源を供給し、パソコン本体をスリープなどの省電力状態にすることで、0W にすることができます。

8 液晶ディスプレイのセットアップ

AUTO セットアップアクション機能

本製品は、次の場合、最適な表示を得られるように画面位置・水平サイズなどを自動調整します。

・初めてディスプレイを本体に接続したとき

・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

- AUTO セットアップアクションは本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（••▶ P.38）。
- 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、その後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- AUTO セットアップアクションは、「コマンドプロンプト」のような黒っぽい表示では動作しない場合があります。その場合は、パソコン本体で画面の背景を白色にしてから、メニュー画面で自動調整を行ってください。（••▶ P.24）
- デジタルケーブルでの接続の場合は、AUTO セットアップアクションおよび自動調整は動作しません。

9 細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、メニュー／決定ボタン、−／+ボタン、画質／入力ボタン、エコ／戻るボタンを使用します。

■メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの機能

メニュー／決定
・ メニュー画面の表示
・ 調整項目の決定
・ 設定値の保存
・ ボタンロックの解除（3 秒以上長押し）

−／＋
メニュー画面が表示されている場合
・ 調整項目の選択
・ 設定値の調整
メニュー画面が表示されていない場合
・ 音量の調整

画質／入力
・ 画質／入力切換メニュー表示

エコ／戻る
メニュー画面が表示されている場合
・ メニュー画面の消去
・ 調整項目の取り消し
・ 設定値の取り消し
メニュー画面が表示されていない場合
・ エコモード切換

□ 調整例

例）コントラストを調整する場合

注：設定値を保存する場合は、メニュー／決定ボタンを押してください。エコ／戻るボタンでメニュー画面に戻る場合は、設定値は保存されません。

メニュー画面が表示されている状態でボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

調整項目の内容

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	映像設定	映像に関する設定を行います。	○	○
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。	○	○
	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。	○	○
	ガンマ	入力された画面をどのような明るさで表示するか調整をします。	○	○

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	カラー設定	色に関する設定を行います。	○	○
	色温度	色温度を調整します。	○	○
NATIVE	ネイティブ	液晶パネルが持っている色温度で表示します。	○	○
5000	5000K	5000K の色温度で画面を表示します。	○	○
6500	6500K	6500K の色温度で画面を表示します。	○	○
7500	7500K	7500K の色温度で画面を表示します。	○	○
8200	8200K	8200K の色温度で画面を表示します。	○	○
9300	9300K	9300K の色温度で画面を表示します。	○	○
10000	10000K	10000K の色温度で画面を表示します。	○	○
USER	ユーザー調整	画面全体の色のバランスを調整します。	○	○
R	赤レベル調整	赤色の明るさ調整をします。	○	○
G	緑レベル調整	緑色の明るさ調整をします。	○	○
B	青レベル調整	青色の明るさ調整をします。	○	○
BLK	黒レベル調整	画面の黒い部分を調整します。	○	○
	色あい	色あいを調整します。肌色などを任意の色あいにします。	○	○
	色のこさ	色の濃さを調整します。色を鮮やかにできます。	○	○
	6 色調整	画面の部分的な色を調整します。	○	○
R◐	赤色のこさ	赤色の濃さを調整します。	○	○
Y◐	黄色のこさ	黄色の濃さを調整します。	○	○
G◐	緑色のこさ	緑色の濃さを調整します。	○	○
C◐	シアンのこさ	シアンの濃さを調整します。	○	○
B◐	青色のこさ	青色の濃さを調整します。	○	○
M◐	マゼンタのこさ	マゼンタの濃さを調整します。	○	○

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	画面設定	表示画面の設定をします。	○	－
	水平位置調整	表示画面の水平位置を左右に調整します（アナログ信号入力時のみ）。	○	－
	垂直位置調整	表示画面の垂直位置を上下に調整します（アナログ信号入力時のみ）。	○	－
	水平サイズ調整	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します（アナログ信号入力時のみ）。	○	－
	フォーカス調整	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します（アナログ信号入力時のみ）。	○	－
AUTO	自動調整	アナログ信号入力時に画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動で調整します。実施する場合は画面の背景を白色にすることをお勧めします。 →AUTOセットアップアクション機能（••▶ P.22）参照	○	－
	基本設定	ディスプレイの基本的な設定をします。	○	○
	ワイド画面切換	画面の表示の拡大方法を切り換えます。1920×1200、1680×1050、1440×900、1280×800、720×400および標準表示仕様以外の解像度（モード）の画面を表示している場合、本メニューは選択出来ません。 **ノーマル**：画面の縦横比を保って拡大表示します。画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります。 **ワイド**：画面全体に拡大します。 **リアル**：入力信号の解像度（モード）のまま、拡大せず、画面中央に縦横比1：1で表示します。画面の端は黒い帯となります。	○	○
DDC/CI	DDC/CI 注1	ディスプレイの明るさやコントラストの調整をパソコン本体で行うことのできる国際規格 DDC/CI の機能をオン／オフします。 画質モードが「標準モード」または「sRGBモード」でのみ調整できます。	○	○
	ミュート	オンにすると、一時的に本製品のスピーカー出力を停止します。ミュートがオンのときに音量ボタンで音量を調整すると、ミュートは解除されます。	○	○

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	モニター設定	ディスプレイの設定を行います。	○	○
	リセット	**オール**：次の項目を除いたすべての項目を、ご購入時の設定に戻します。 入力切換、現在選択されていない入力の画面設定内の全項目（水平位置調整、垂直位置調整、水平サイズ調整、フォーカス調整）、および現在選択されていない入力のワイド画面切換 **カラー**：色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。	○	○
	ボタンロック	エコ／戻るボタン、画質／入力ボタン、音量／－ボタン、音量／＋ボタン、メニュー／決定ボタン、電源ボタンを無効にすることができます。 ボタンロック中にこれらのボタンを操作すると、画面上に「ボタンがロックされています」と表示されます。ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを 3 秒以上、メニュー画面が表示されるまで押し続けてください。	○	○
	エコ設定	消費電力の削減に関連した機能の設定をします。	○	○
	エコゲージ表示	エコゲージ（P.20）の表示、非表示を切り換えます。	○	○
	エコブート	エコブート機能（P.20）のオン、オフを切り換えます。	○	○
	累積電力削減量表示	累積の電力削減量（kWh）と累積の電力削減量を CO_2 換算した値が表示されます。	○	○
	累積電力削減量リセット	累積電力削減量および累積 CO_2 削減量の値をクリアし、ゼロにします。	○	○
	情報表示	現在選択されている解像度（モード）と周波数、および選択された入力端子が表示されます。またアイコンで画質モード、エコゲージ表示、エコブート、DDC/CI、スピーカーの状態を確認することができます。	○	○

注 1： 本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 2： リセット（オール／カラー）はどの画質モードで実行しても、すべての画質モードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

■音量調整

スピーカーの音量はメニュー画面を表示せずに、−／＋ボタンで直接調整できます。

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	音量	本製品のスピーカーの音量を調整します。＋ボタンを押すと音量が大きくなり、− ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュート設定時に音量を調整すると、ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。	○	○

画質モードと調整項目の組み合わせ

○ : 選択可　× : 選択不可

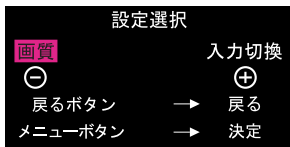
	調整項目	標準	sRGB	文書	動画	写真
映像設定	明るさ	○	○	○	○	○
	コントラスト	○	×	○	○	○
	ガンマ	○	×	○	×	○
カラー設定	色温度	○	×	○	○	○
	黒レベル	○	×	○	○	○
	色あい	×	×	×	○	○
	色のこさ	×	×	×	○	○
	6 色調整	×	×	×	×	○
基本設定	DDC/CI	○	○	×	×	×
モニター設定	リセット	○	○	○	○	○

POINT

- リセット（オール／カラー）はどのモードで実行しても、すべてのモードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

入力切り換えについて

本製品には 2 つの入力コネクタ（アナログ RGB コネクタ：「アナログ入力」、および DVI-D コネクタ：「デジタル入力」）があります。
初めてご使用になる場合は、入力を自動で検出して表示を出しますが、入力を切り換えた場合は、手動で切り換えてください。

1 **画質／入力ボタンを押して、画質／入力切換メニューを表示します。**

2 **－／＋ボタンで「入力切換」を選択し、メニュー／決定ボタンを押します。**
現在選択されている入力が「アナログ入力」の場合は「DVI-D に切り換えますか ?」、「デジタル入力」の場合は「D-SUB に切り換えますか ?」とメッセージが画面に表示されます。

3 **メニュー／決定ボタンを押します。**

重要

- 切り換えた入力コネクタへの入力がないと、「節電に入ります」と画面に表示され、本製品は省電力状態になります。このときは、入力を選び直してください。

10 こんなときは

本製品のご使用になるときに何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。
問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」については、パソコン本体に添付されている『取扱説明書』をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを本製品の電源コネクタとコンセント（またはパソコン本体のアウトレット）に正しく奥まで確実に接続してください。	「パソコン本体と接続する」（••▶ P.14）
	本製品の電源が入っていない。	パソコンの電源が入っていることを確認し、本製品の電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（••▶ P.8）
	パソコンが省電力状態になっている（本製品の電源ケーブルをパソコン本体のアウトレットに接続している場合）。	パソコン本体の省電力機能の設定を確認してください。	－
電源ランプがオレンジ色に点灯しており、メニュー／決定ボタンを押すと「節電に入ります」のメッセージが表示される	パソコンが省電力状態になっている	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	「省電力機能」（••▶ P.21）
	アナログケーブル、またはデジタルケーブルが本製品およびパソコン本体に、正しく接続されていない。	本製品とパソコン本体にアナログケーブル、またはデジタルケーブルを正しく接続してください。	「パソコン本体と接続する」（••▶ P.14）
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない場合によっては次のメッセージも表示される「規定外の信号です」「入力信号がありません」	パソコン本体の設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（••▶ P.38）
	入力が切り換わっている。	入力切り換えを行ってください。	「入力切り換えについて」（••▶ P.29）
	アナログケーブル、またはデジタルケーブルが本製品またはパソコン本体に、正しく接続されていない。	本製品とパソコン本体にアナログケーブル、またはデジタルケーブルを正しく接続してください。	「パソコン本体と接続する」（••▶ P.14）

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」（▶ P.24）
画面が暗くなった	エコモードが「オート」「インテリジェントオート」または「オン」になっている。	エコボタンを押して、エコモードを「オフ」に設定してください。	「エコ機能」（▶ P.19）
	自動輝度センサーが何かに覆われている。	自動輝度センサーを覆っているものを取り除いてください。	「各部の名称と機能」（▶ P.8）
	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」（▶ P.24）
	表示解像度（モード）が本製品の推奨解像度（モード）（▶ P.38）より小さい解像度（1024 × 768 など）で使用されており、エコブートが動作している。	エコブートをオフにしてください。	「エコブート」（▶ P.20）
	液晶パネル内部の蛍光管が、長期使用で暗くなっている。[注1]	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。	－
推奨解像度（モード）より小さい解像度（モード）を設定していても、エコブート機能が働かない	パソコンによっては、推奨解像度（モード）より小さい解像度（モード）を設定した場合、推奨解像度（モード）に拡大して出力される場合があります。	メニュー画面の「情報表示」で、解像度（モード）を確認してください。推奨解像度（モード）になっている場合、エコブート機能はお使いになれません。	「エコブート」（▶ P.20） 「調整項目の内容」（▶ P.24） 「標準表示仕様」（▶ P.38）
画面いっぱいに表示されない	ワイド画面切換が「ノーマル」になっている。	ワイド画面切換を「ワイド」に設定してください。	「調整項目の内容」（▶ P.24）
	画面位置の調整が適切でない（アナログ接続時のみ）。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「調整項目の内容」（▶ P.24）
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない	エコモードが「インテリジェントオート」、または画質モードが「写真、動画モード」に設定されている。	モードの設定を別のモードに変更してご使用ください。	「画質を選ぶ」（▶ P.17） 「エコ機能」（▶ P.19）

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面の縦横比が崩れてしまう	ワイド画面切換が「ワイド」になっている。	ワイド画面切換を「ノーマル」に設定してください。	「調整項目の内容」（••▶ P.24）
	パソコンの設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に設定してください。	「標準表示仕様」（••▶ P.38）
	パソコンの設定が720×400の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を720×400以外の解像度（モード）に変更してください。	－
ワイド画面切換が選択できない	パソコンの設定が、ワイド画面切換できない解像度（モード）になってる。	「パソコン本体の設定を、標準表示仕様の解像度（モード）にしてください。ただし、次の解像度（モード）は除きます。 1920×1200、1680×1050、1440×900、1280×800、720×400	「標準表示仕様」（••▶ P.38）
格子状の模様が見えないことがある（アナログ接続時のみ）	フォーカスが合っていない。	フォーカスを調整してください。	「調整項目の内容」（••▶ P.24）
帯状のしま模様（縦）が見えることがある（アナログ接続時のみ）	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてから、フォーカスの調整をしてください。	「調整項目の内容」（••▶ P.24）
画面がはみ出る（アナログ接続時のみ）	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「調整項目の内容」（••▶ P.24）
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコンの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（••▶ P.38）
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	パソコンの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（••▶ P.38）
文字の太さが場所によって異なる 画面の内容が大きくぼけて表示される	1920×1200よりも低い解像度（モード）になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面にするには「画面設定」で解像度（モード）を1920×1200に設定してください。	－
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない（アナログ接続時）。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「調整項目の内容」（••▶ P.24）
動画再生や画面の切り換え時に画面階調が変わる	画質モードが「動画モード」に設定されている。	他の画質モードに設定するか、動画を全画面でご覧ください。	「画質を選ぶ」（••▶ P.17）
電源投入直後やパソコンの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	－

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	－
画面を切り換えても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	パソコンの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は 1 日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	－
表示画面にむらがある（もやもやしている）	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（••► P.8）
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」（••► P.17）
	エコモードが「インテリジェントオート」に設定されている。	エコモードを別のモードに変更してご使用ください。	「エコ機能」（••► P.19）

注 1： 液晶パネルは蛍光管を使用しており、長期間使用していると明るさが低下します。また、若干黄色くなることがあります。

画面が調節できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを3秒以上（メニュー画面が表示されるまで）押し続け、ボタンロックを解除してください。	「ボタンロック」（▶ P.27）
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「失敗しました。マニュアルをごらんください」	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	表示画面全体をできるだけ白い画面にして、もう一度自動調整を行ってください。	「AUTOセットアップアクション機能」（▶ P.22）「調整項目の内容」（▶ P.24）
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「調整項目の内容」（▶ P.24）「標準表示仕様」（▶ P.38）
メニュー画面の自動調整が選択できない	デジタル入力でパソコンと接続している。	デジタル入力でパソコンと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	「調整項目の内容」（▶ P.24）

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「調整項目の内容」（••▶ P.24）
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、−／＋ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」（••▶ P.8）
	画面の音量つまみが最小になっている。	適切な音量に調整してください。	—
	パソコン本体の音量設定がミュートになっている（画面右下の通知領域に 🔇 と表示されている）。	キーボードの Mute（消音）ボタンを押すか、画面右下の通知領域の 🔇 をクリックして音量つまみを表示し、🔇 をクリックして 🔊 にしてください。	—
	モニターが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっております。	「省電力機能」（••▶ P.21）
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とパソコン本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「パソコン本体と接続する」（••▶ P.14）
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

11 日常のお手入れ

■清掃する

お手入れの前にパソコン本体の電源を切り、本製品の各ケーブルを、コンセントおよびパソコン本体から抜いてください。

重要

- 化学ぞうきんや市販クリーナーは次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨材を含むもの

  など
- 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
  - ・柔らかい布をご使用ください。
  - ・力を入れすぎないようにしてください。
- 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

□ 画面の清掃

柔らかい布で拭いてください。

□ カバーの清掃

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。
また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。

12 仕様

本体仕様

項目			仕様
対応機種			ESPRIMO
入出力 I/F	アナログ RGB コネクタ		映像信号：アナログ（セパレート同期信号／TTL）
	DVI-D コネクタ		映像信号：デジタル（TMDS/HDCP 対応）
	オーディオ入力端子 （φ3.5 ステレオジャック）		音声信号：アナログ
表示部	最大解像度（モード）		1920 × 1200
	液晶パネル		TFT カラー液晶
	最大表示色		1677 万色
	表示寸法		518mm（H） × 324mm（V）
	画面サイズ		24 型（61.1cm）
	画素ピッチ		0.270mm × 0.270mm
機能	入力対応解像度（モード）		VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA、WUXGA、720 × 400、1280 × 800、1440 × 900、1680 × 1050
	プラグ＆プレイ		DDC/CI（VESA）[注1]
	チルト		0 ～ 20°
	スイーベル		左右各 45°
電源	入力		AC100V 50/60Hz （入力波形は正弦波のみサポート）
	消費電力	最大時[注2]	52W
		通常時[注3]	48W
		エコモード「オン」時[注3]	31W
		省電力時	0.5W
		電源ボタン「オフ」時[注4]	0.5W
音声部	最大出力		1W/ch
	スピーカー		ステレオ
	出力音圧レベル（ユニット）		79.5dB/W（1m）
	再生周波数帯域（ユニット）		480Hz ～ 20kHz
外形寸法			559mm（W） ×216mm（D） ×423mm（H）
質量			約 5.8kg
使用環境	温度		10 ～ 35 ℃
	湿度		20 ～ 80％（RH） （最高湿球温度 29 ℃ 結露しないこと）

注 1：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 2：「最大時」の値は、画質モードを「標準」にして、スピーカーを使用している場合を想定しています。

注 3：「通常時」および「エコモード「オフ」時」の値は、画質モードを「標準」にして、スピーカーを使用せず、明るさを特に調節しない状態での使用を想定しています。

注４： 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜くことにより０にすることができます。

標準表示仕様

〇：表示可能 ◎：推奨解像度（モード）

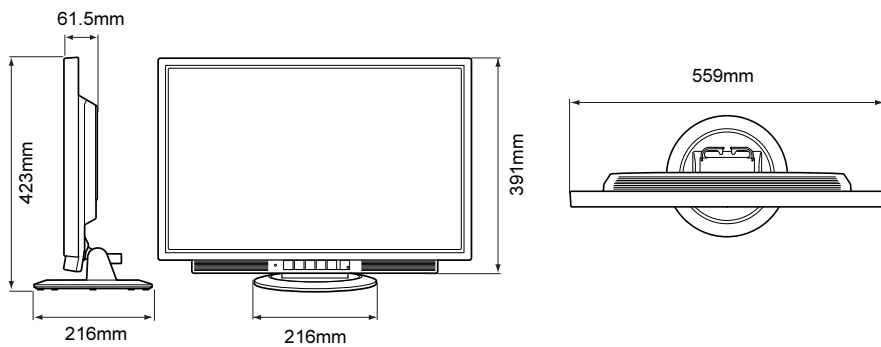
No	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）	
				アナログ	デジタル
1	720 × 400	31.5kHz	70Hz	〇	〇
2	640 × 480	31.5kHz	60Hz	〇	〇
3	640 × 480	37.9kHz	72Hz	〇	
4	640 × 480	37.5kHz	75Hz	〇	
5	800 × 600	37.9kHz	60Hz	〇	〇
6	800 × 600	48.1kHz	72Hz	〇	
7	800 × 600	46.9kHz	75Hz	〇	
8	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	〇	〇
9	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	〇	
10	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	〇	
11	1280 × 800	49.3kHz	60Hz	〇	〇
12	1280 × 800	49.7kHz	60Hz	〇	〇
13	1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	〇	〇
14	1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	〇	
15	1440 × 900	55.5kHz	60Hz	〇	〇
16	1440 × 900	55.9kHz	60Hz	〇	〇
17	1600 × 1200	75.0kHz	60Hz	〇	〇
18	1680 × 1050	64.7kHz	60Hz	〇	〇
19	1680 × 1050	65.3kHz	60Hz	〇	〇
20	1920 × 1200	74.0kHz	60Hz	◎	◎

重要

- 1920 × 1200 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的に全画面表示しているためであり、故障ではありません。

POINT

- ご購入時の設定（1920 × 1200）でのご使用をお勧めします。

外形図

ESPRIMO
液晶ディスプレイ -24 ワイド（VL-24WM1D）
取扱説明書

B6FJ-4841-01 Z0-00

発 行 日　2010 年 6 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

● このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。